

2020年12月14日

関係者の皆様へ

社会福祉法人 白根学園
学園長 磯貝 康正

白根学園障害者支援施設 しらねの里における
新型コロナウイルス感染の状況について（第3報）

12月8日（火）、10日（木）に障害者支援施設 しらねの里において利用者12名及び職員1名の感染が判明した新型コロナウイルス感染状況についてご報告します。

その後12月10日（木）に発熱した職員2名のPCR検査結果が陽性となり、また同日、保健所指導により、上記を除くしらねの里の利用者・職員全員78名（利用者30名・職員48名）を対象にPCR検査を実施したところ、12日（土）に新たに29名（利用者19名、職員10名）の陽性が判明しました。陽性者の累計は44名（利用者31名・職員13名）となっています。

1 陽性者について

利用者については、1名が入院していますが、その他はいずれも軽症で当該居室を閉鎖し自室で療養中です。また職員については軽症で、療養施設または自宅で療養中です。療養の終了及び通常的生活への復帰は保健所の指示に従い判断します。

2 障害者支援施設 しらねの里の現状について

皆様にはご不便をおかけしますが、しらねの里の短期入所は当面休止し、入所者はそれぞれの居室で経過観察を行っています。また入所施設の応援体制を組むため、日中活動については、一旦全面休止とし、障害福祉サービス事業所 しらねの里・げんきについても、当面活動を休止します。

学園としては、基本の感染予防策を改めて徹底し、これ以上の感染拡大を食い止めるため、今後も保健所等関係機関と十分連携して対応してまいります。